

隣の席の

雪村

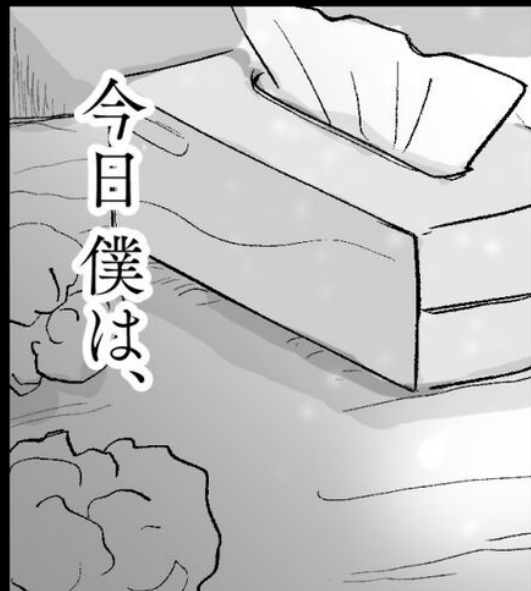
ゆきむら

肉斬り包丁

籠衣
われる

47P





今日僕は、



いつもと
変わらずし
朝起きて
学校に登校した。

いつもと
変わらぬ一日。
そしていつもと
変わらず
僕は童貞だった。



けれど今…

今、僕は…

同じフランスの女子と



16回目のセックスを
しようとしている...

キーン

コーン
カーン

時は戻って
今朝！。

コーン


1-A



僕の名前は
鈍感太

僕は：
となりの
席の子に
恋をしている





その子の
名前は
雪村さん

小さくて
可愛いけど
いつも無口で
何を考えてるのか
わからない



返事が
来ることは
無いし

フムッ...

何故か
死んだフリをする



き、今日も
寒いね...

仲良くなろうと
頑張って
声をかけるけど...



もしかしたら
僕は雪村さん
にとって

ゲロ以下の
存在なのでは
...?

視界に入れたく
ないな



とにかく
何とかして
仲良く
なりたい

何か良い
きっかけは
無いものか...

さつき授業で
返ってきた
テスト…

雪村さん
満点だ
スゴイ…!!

それに比べて
僕は
頑張つて8点

雪村さんの
知能を分けて
もらいたい

知能…??

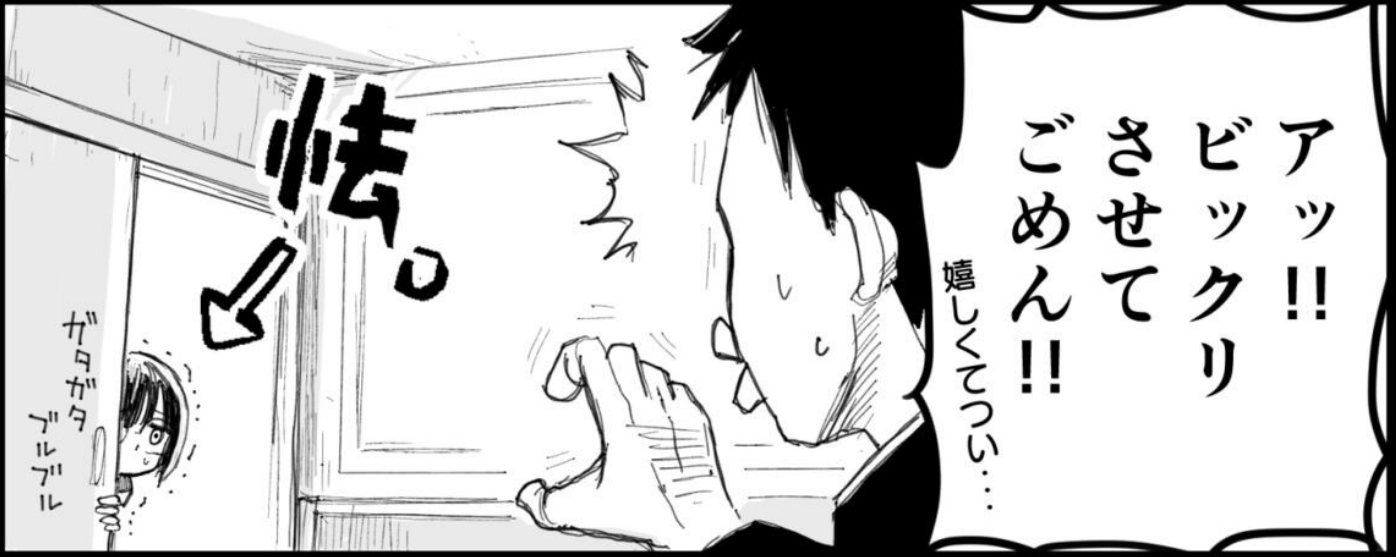
そうか
この手が…!!

雪村さん!!











僕の部屋
だと…!?



まって…!?
もしかして僕は
「異性として
認識されていない」
のでは…!?

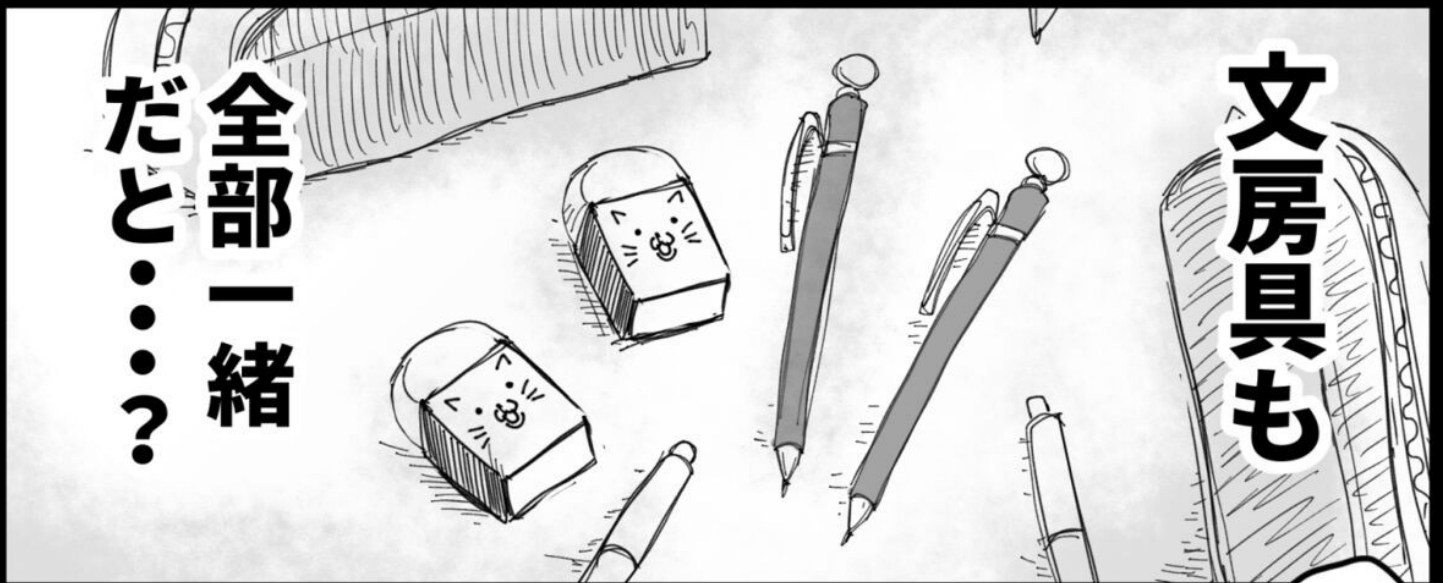
だとしたら
悲しすぎる



勉強する場所に
僕の部屋を
指定してくるなんて…

男の部屋に
上がり込むって
普通は警戒する
ものじゃないのか…!?







すごい
偶然だね！

好きなものが
こんなにも
一緒だなんて！！

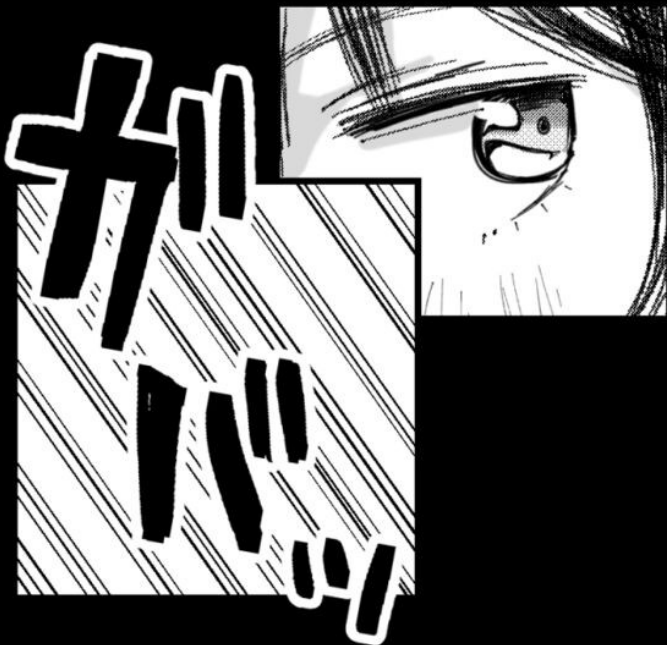


あれ……？
機嫌が
悪くなった……？



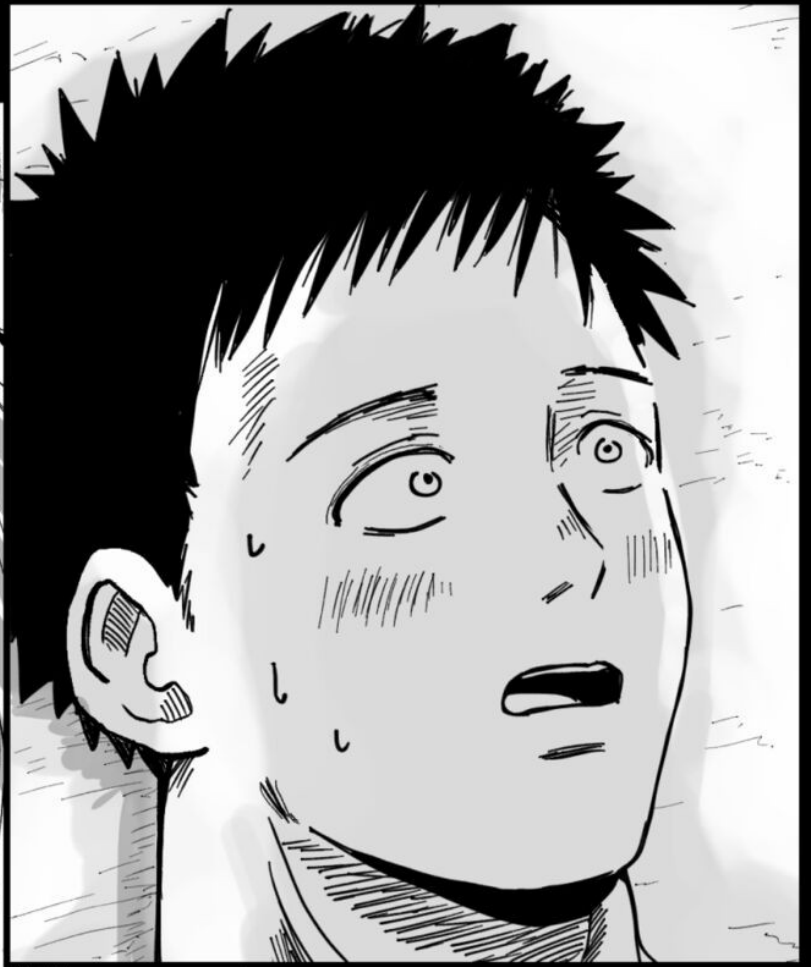
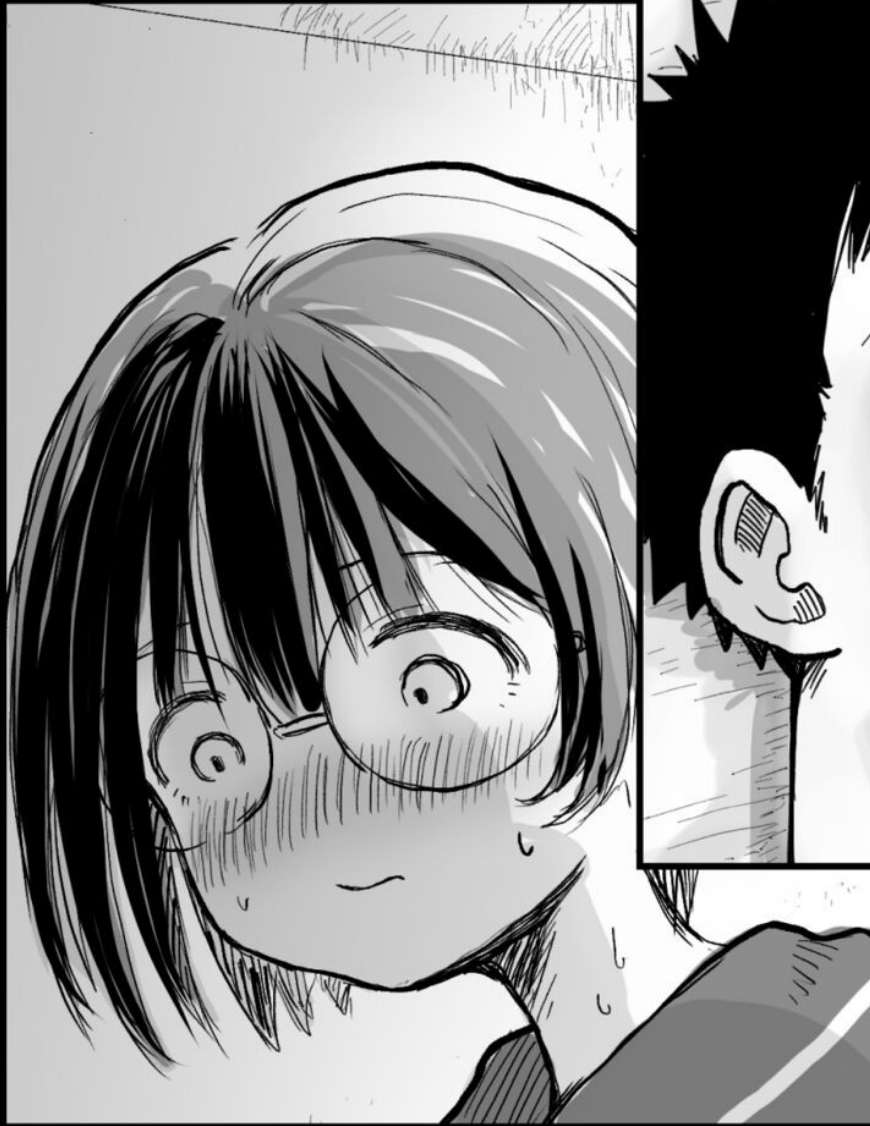
へ、変なこと
言つてごめん！

僕なんかと
一緒なんて
気分悪いよね……



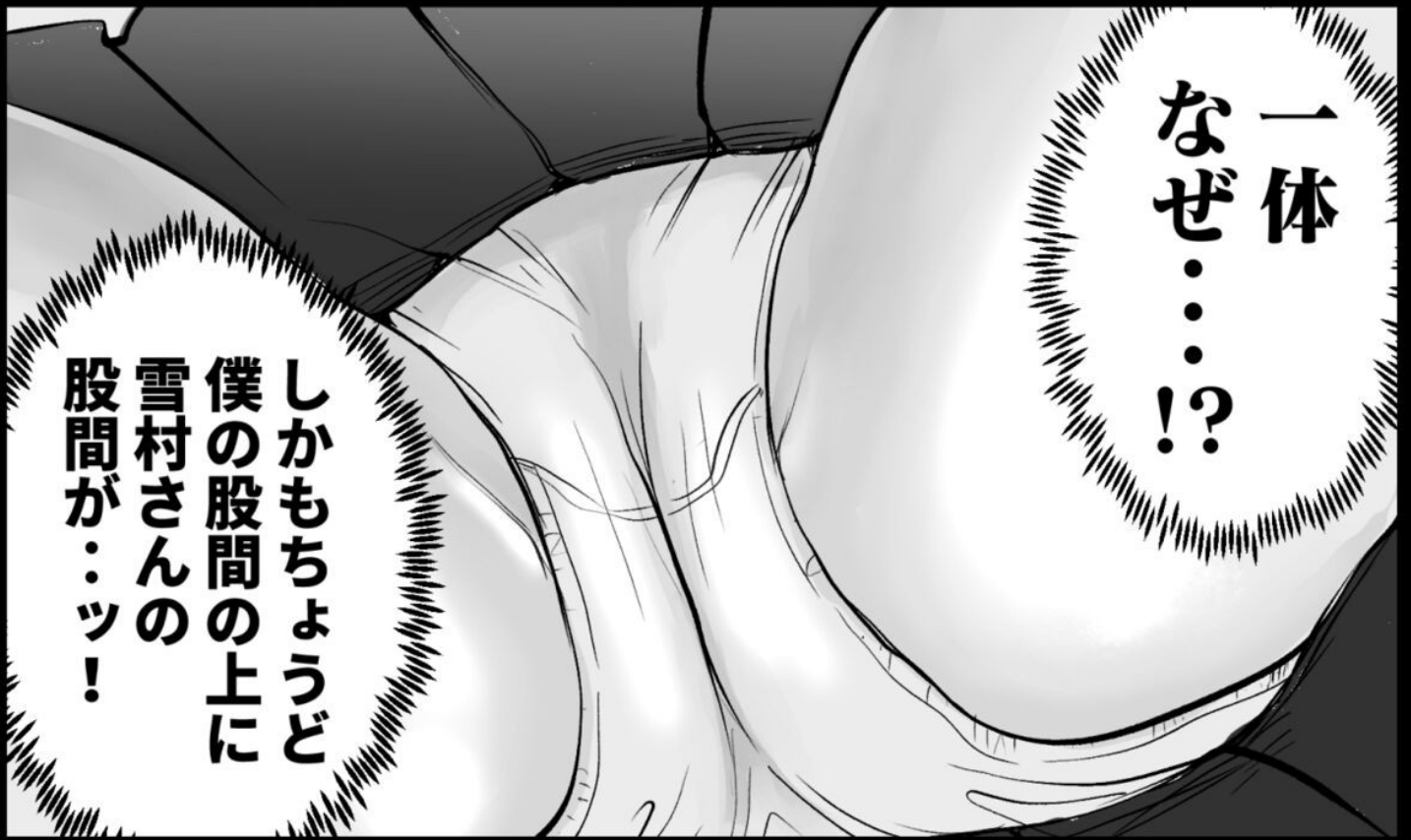
ガ
バ
ッ





いきなり
押し倒された
……?……?……?

ゆ……雪村さん……!?



一体
なぜ……!?

しかもちょうど
僕の股間の上に
雪村さんの
股間が：ツ！



ゆ…雪村さん！

一旦
どう…



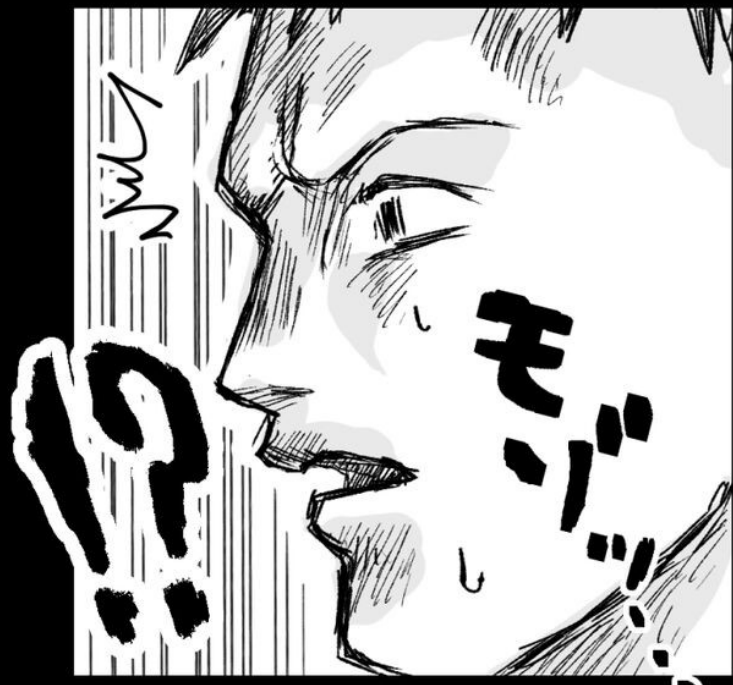
このままだと
確実に勃起する…ツ！

勃起したら最後ツ！
確実に変態だと
思われてしまう…！



ム
ム
ム
ツ…

ハッ



急に何をツ…!?



シコシコシコ

シコ

雪村

さアん!!

シコシコシコ

シコシコシコ

ってかストップ!!
手コキストップ!!

それ以上されたら
フオオオオオアアア
アアアアアアアツツ



止めて
くれた…!?



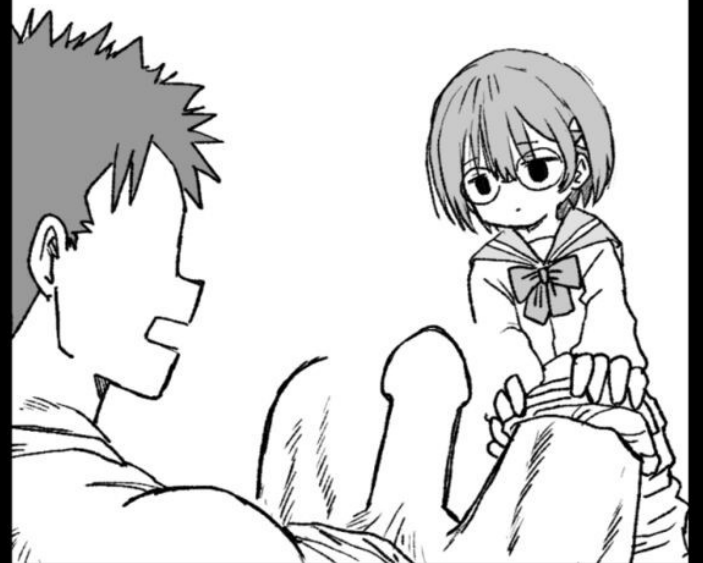
ハァッ

危なかった…
もう少しで
雪村さんの前で
イクところだっ…!

ハァッ

ピ
ロ
ン

雪村
さアん!?



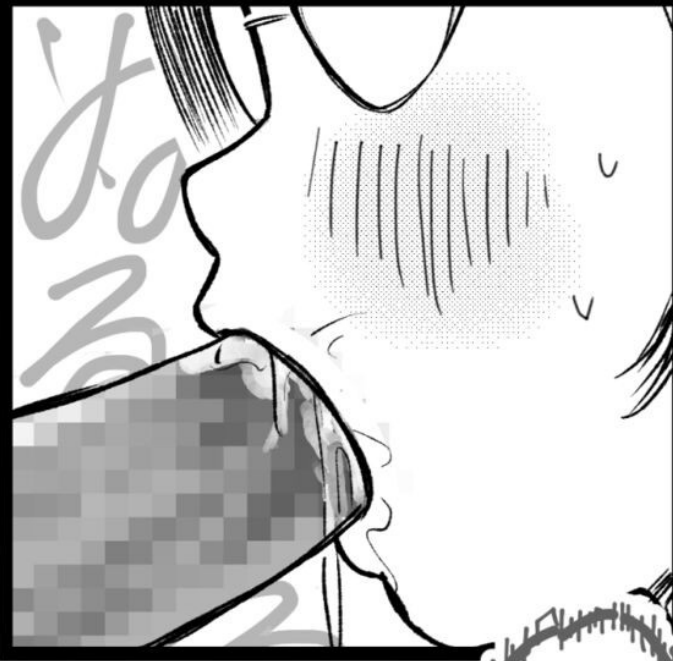


エツテイな
事



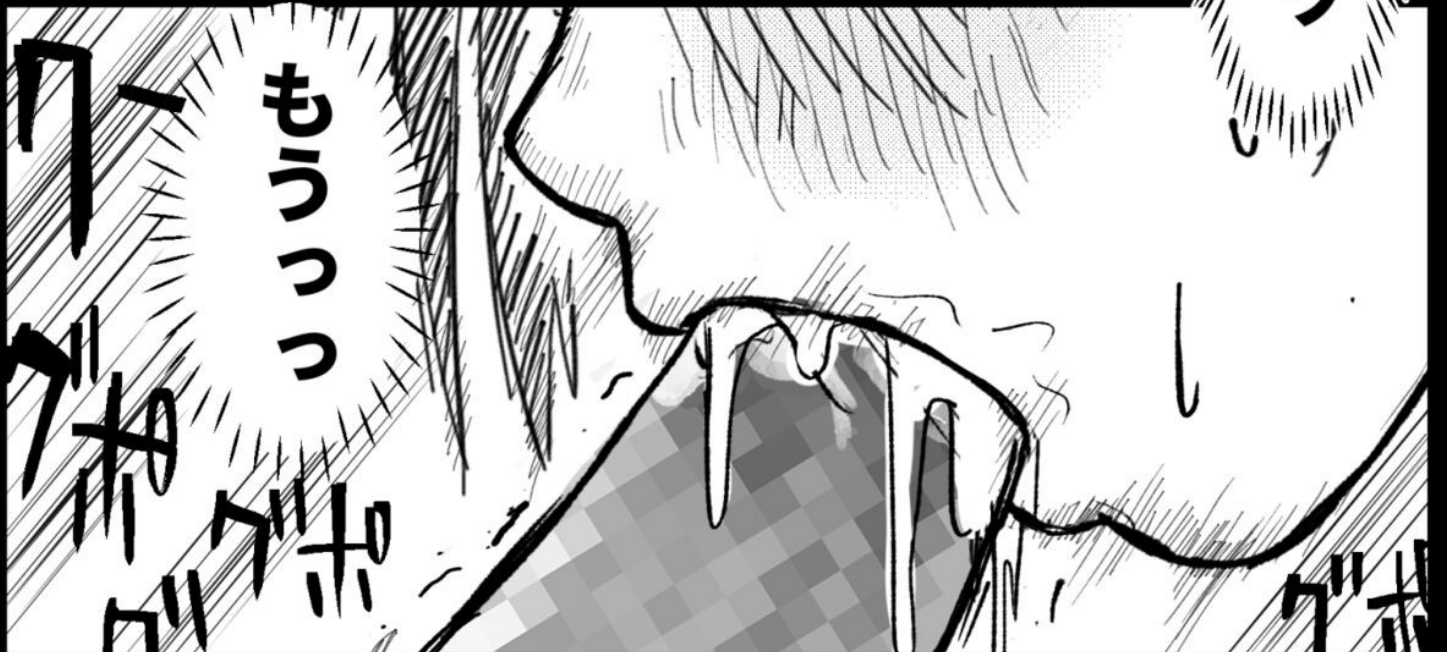
どうして
急に
こんな







だめだ…ツ

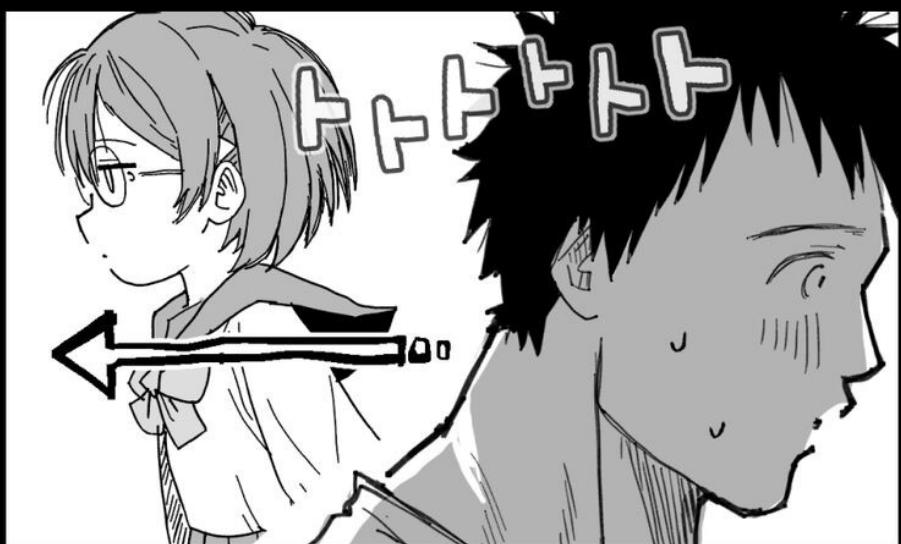


もうっっっ



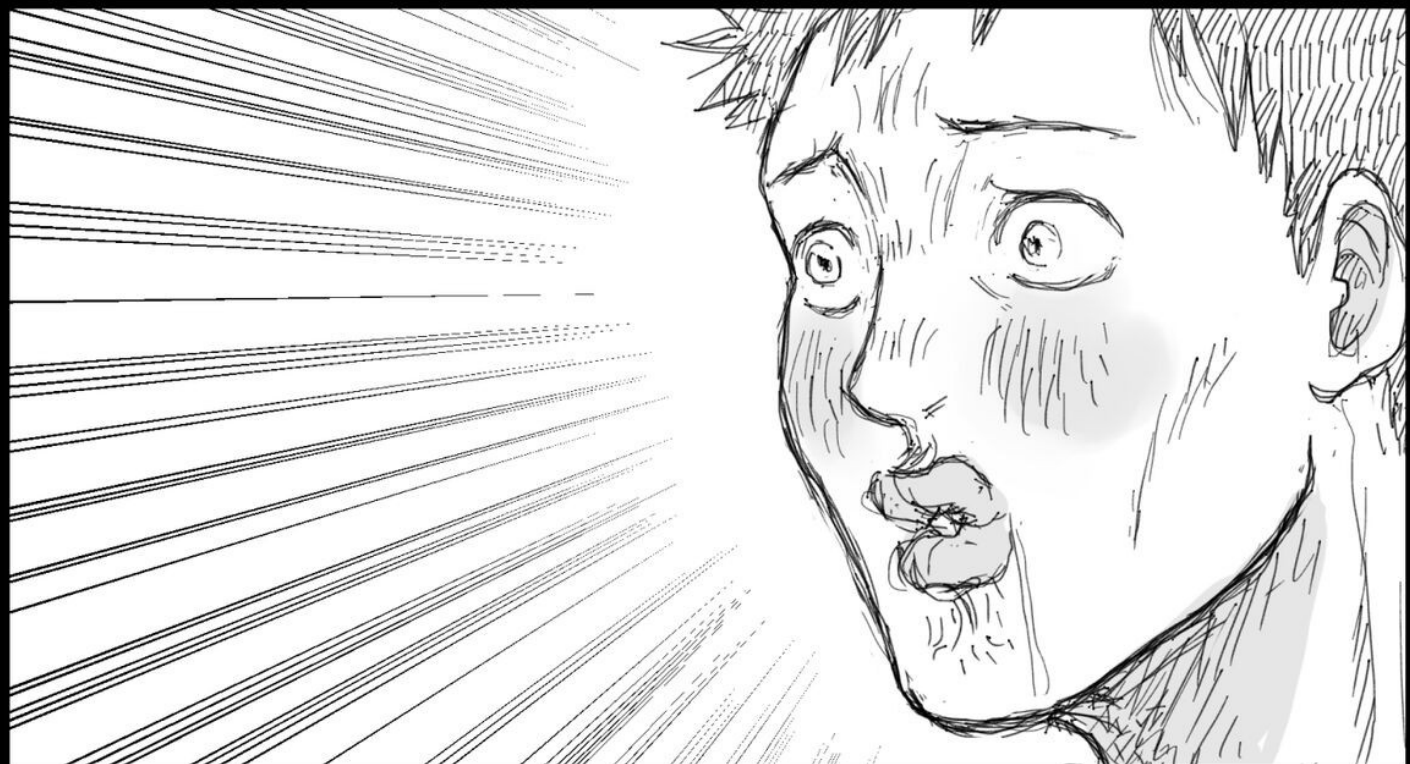
イクツ…!!













僕の片思いだと
思っていた...



あの
雪村さんが
僕の事を...!?



もしかして
僕と同じものを
持っていたのも

僕とお揃い
にしたかったから
...!?



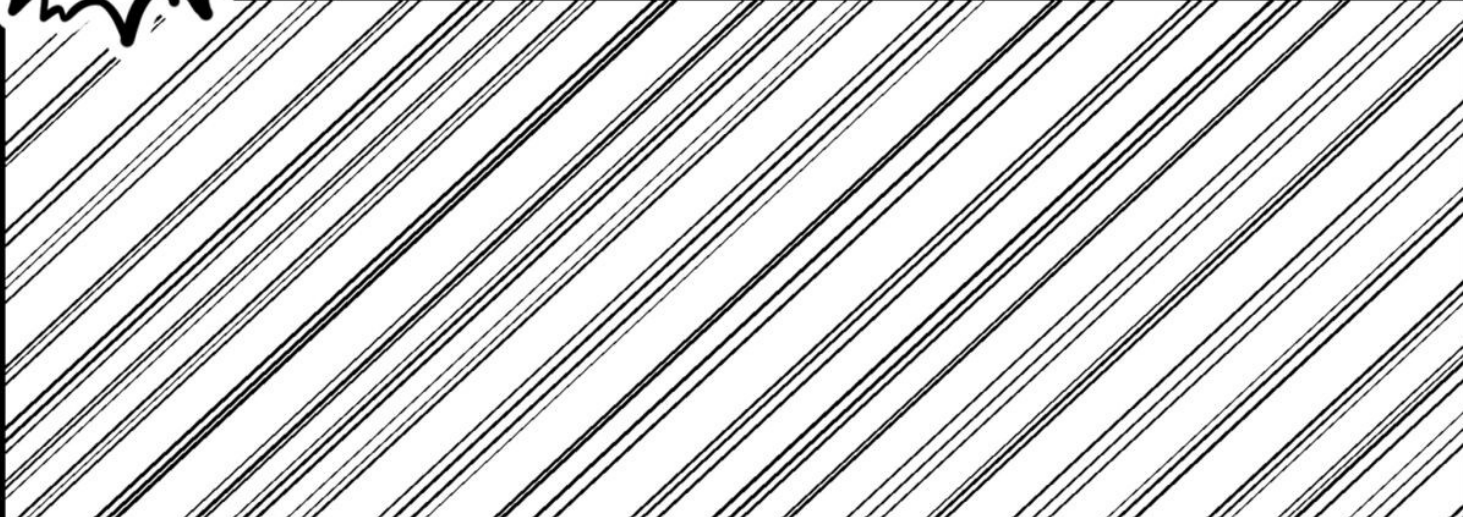
うおおお
おおお!!

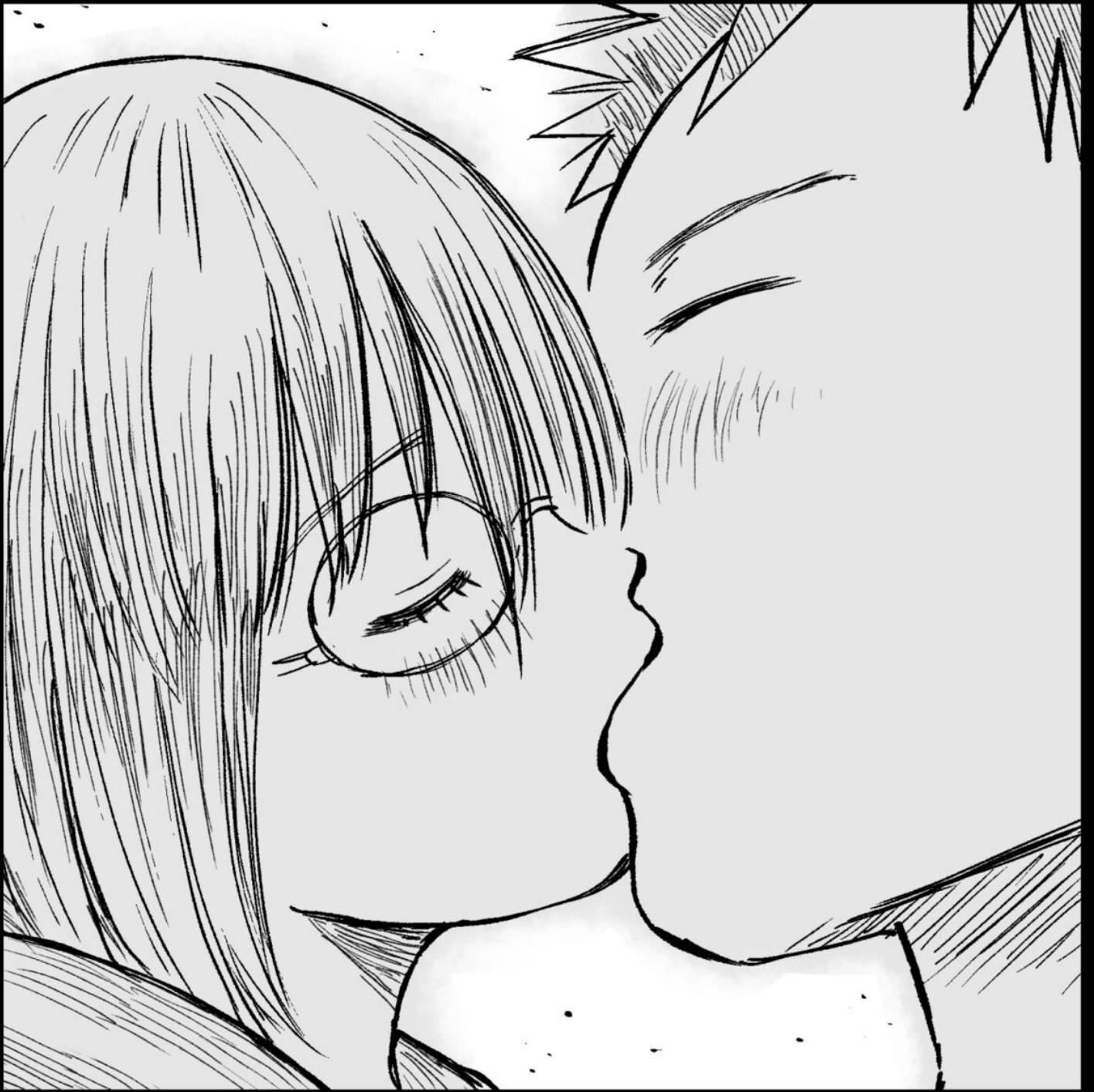


好きだ!!



僕も雪村さんが





アハハハハ

雪村さんの
パンツ!!!

ああああっ!!
顔を埋めたい!!
グリグリして
クンクンしたい!!

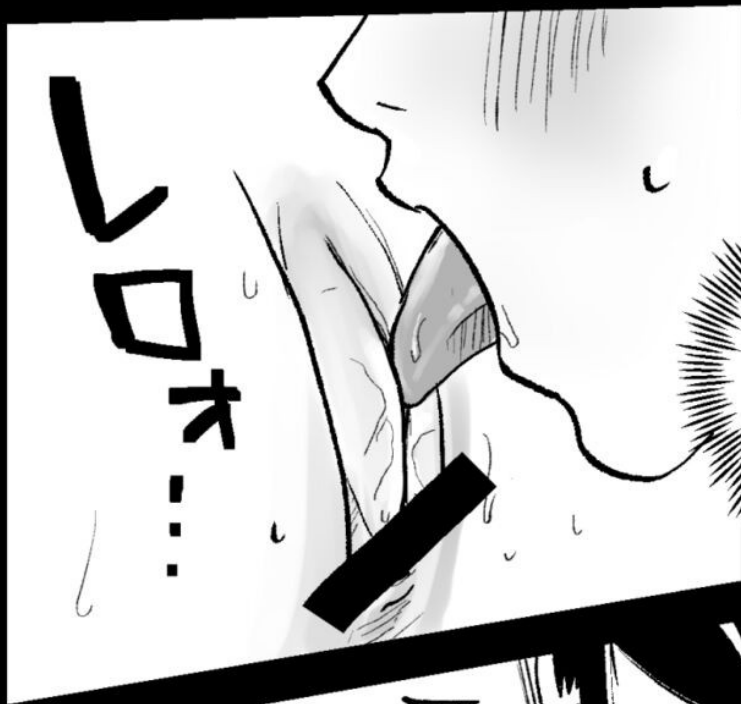
カハハハ

ヒクヒク

ム







味も
見ても
おこそう



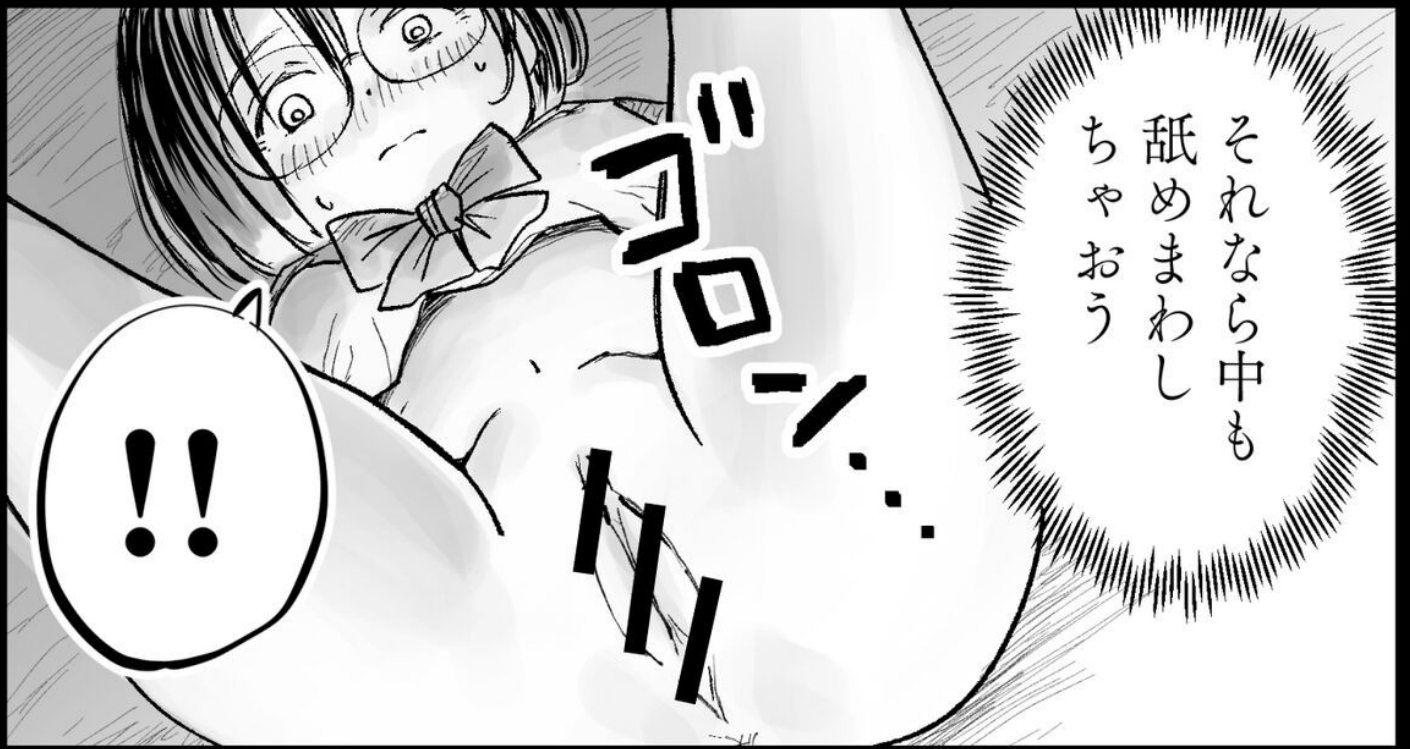
体がピクピク
してる…
気持ち
いいのかな

キョ
キョ
キョ
キョ

ヌ
ヌ
ヌ

シ
シ
シ
シ
シ

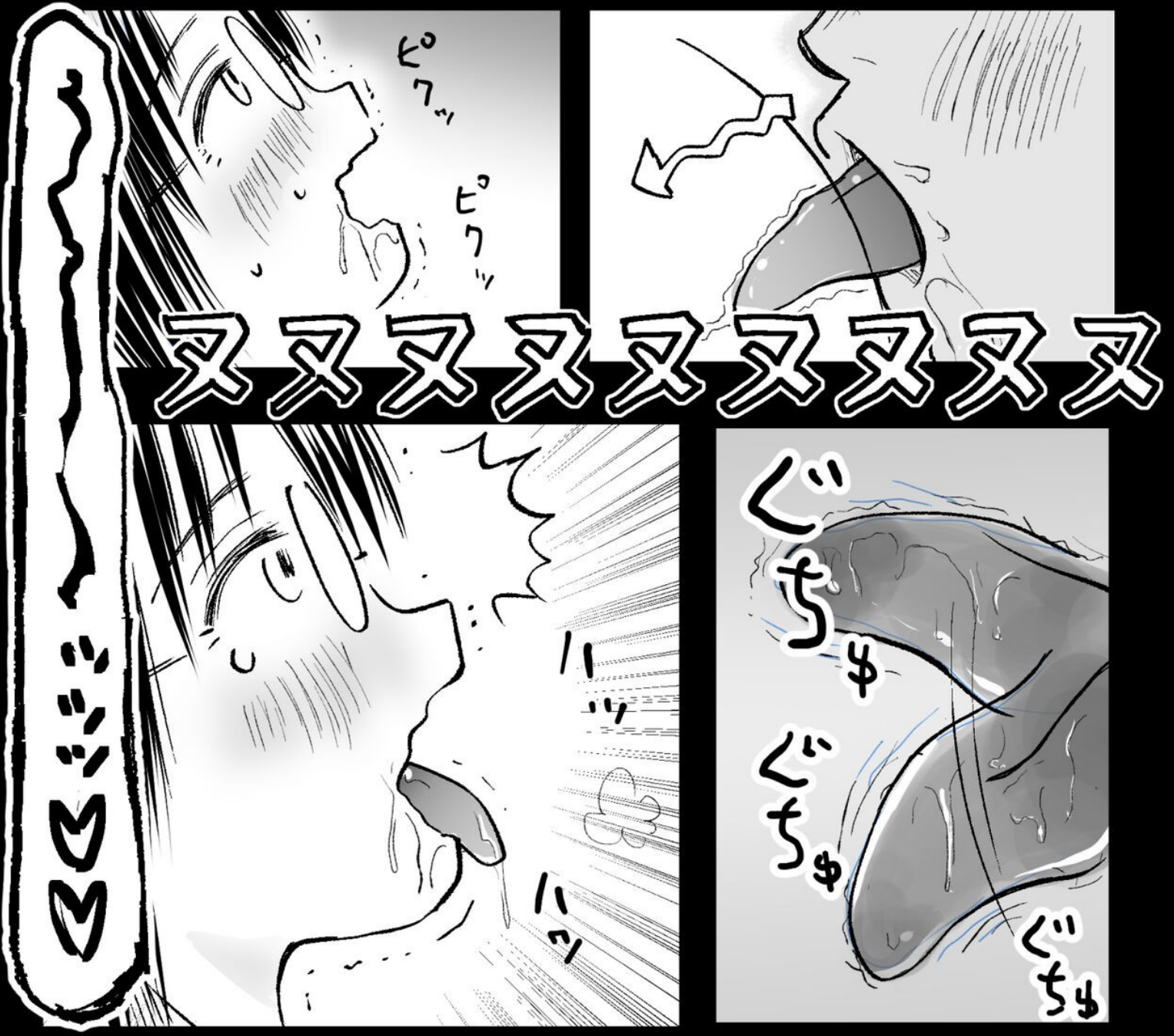
雪村さんのまんこ…
ちよつとしよつぱくて
生々しい味だ



それなら中も舐めまわしちゃおう

ゴーン...

!!



ヌヌヌヌヌヌヌヌ

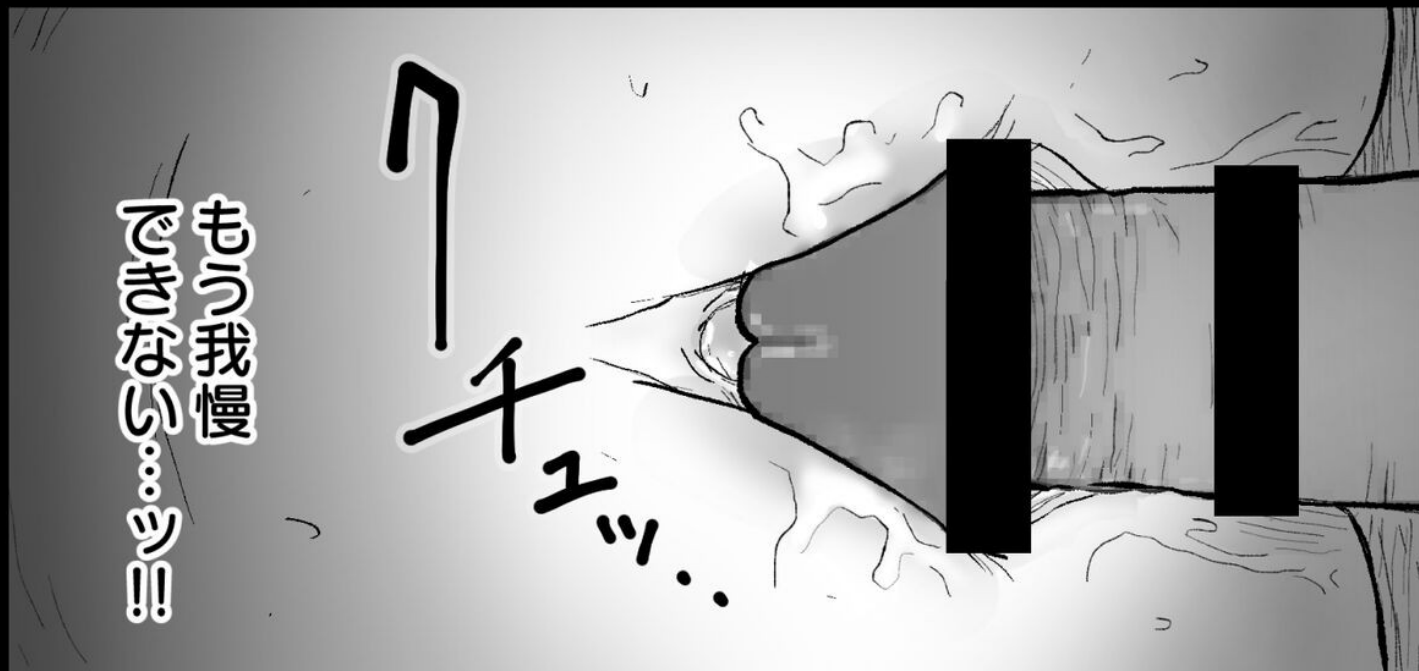
ニャーニャー

いぢゅ\$

いぢゅ\$

いぢゅ\$





もう我慢
できない…ツ!!



ニュルルン..

ウアツツツ…!!
生まんこ…!!
あっ、あついッ…!!



コクッ



熱くてっ!!
ヌルツとして!!
ウニユウニユして!!
締め付けてきて!!

ズグググ!!

んぎっ!!
ぎもちいい
いいいい
いいいい
いいいい
いいいい
いいいい
いいいい
いいいい
いいいい

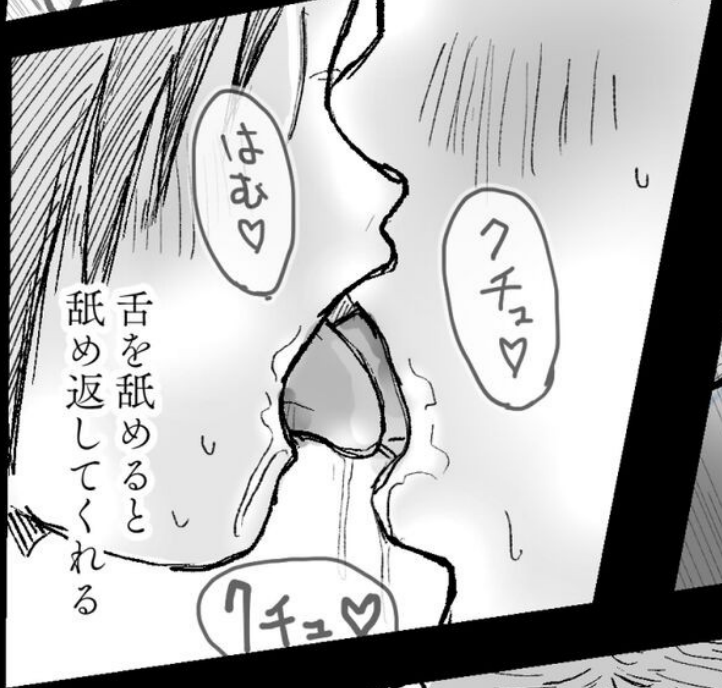


あえぎ声
かわいい

あ♡

あ♡

あ♡



は♡

クチュ♡

クチュ♡

舌を舐めると
舐め返してくれる



頭がおかしくなりそうだ

ずち♡

♡

ずち♡

グチュ♡

セックスって
こんなに
気持ちいいのか

ズン



気持ち良すぎてもう…

イクツ…!!


ズン
ズン
ズン
ズン

ズン
ズン
ズン






気が付いたら
外はすっかり
暗くなって
いた。



雪村さんの親も
僕の親も
今日は家に
帰ってこないの
で、
雪村さんは
お泊りする
ことになった。

セックス
し終わったあと
ずっと
くっついてくる。
とてもかわいい



どうして
僕のことを
好きになって
くれたの？



雪村さん…

雪村さんは
内緒話をするように
小さな声で
教えてくれた。

自分から他人に
話しかけることはない。
逆に他人が
話しかけて来ても
怯えて目を
閉じてしまう。

周りの人間に
合わせることが
できない自分は
これからもずっと
独りなのだと
思っていたある日

雪村さんは
小さい頃に起きた
とある出来事が
きっかけで
人と接することに
恐怖を感じるように
なってしまった
らしい。

そんな事を
繰り返しているうち
誰も雪村さんに
近づかなく
なったららしい。

おはよう
雪村さん！

僕が
あらわれた。

そこから僕たちは
時間を忘れて
セックスしまくった。



雪村さんは
どんなエロいことでも
してくれるし
どんなエロいことを
しても受け入れてくれた。



何回も何回も
生でセックス。
しかも中出し。

これでもかと言
うくらいあり
つたけの精液を
雪村さんの膣内
に出しまくった…



それでもなお
雪村さんは
襲ってきて…

雪村さん…!!
まだするの…!!
アフツ…!!

結局16回
中出しした。



